


専門研修「広報（編集実務）」

【日時】	令和3年6月25日(金) 9:00～17:00 7月14日(水) 9:00～12:30
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	28名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来交創株式会社 代表取締役 前田 安正 氏 (朝日新聞 元校閲センター長・用語幹事) ・ 東京写真記者協会 事務局長 渡辺 幹夫 氏 (日本大学 芸術学部 写真学科 非常勤講師) ・ 元埼玉県三芳町職員／自治体広報アドバイザー (中野区ほか) 佐久間 智之 氏 (早稲田マニフェスト研究所招聘研究員／厚生労働省 年金広報検討会構成員)
【研修内容】	<p><目的> 区民にわかりやすく魅力的な広報紙を作成するために、編集技術の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ① わかりやすく正しく伝わる文章・表記について ② 校正の実践アドバイス ③ 適切な見出しの付け方 ④ 広報写真の効果的な活用方法 ⑤ 広報紙やSNS掲載用写真の撮影方法 ⑥ 住民に伝わる広報のデザイン・レイアウト <div data-bbox="970 902 1390 1211" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;"><実技（写真撮影）の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見出しのつけ方や校正時のポイントは、初めて知ることが多く、大変参考になりました。また、表現方法等について、時代に合わせて変える必要があると学び、見直すきっかけにしたいです。 ・ 写真を撮影するにあたって、トリミングありきで撮影をしないことや、その写真の中で何を見せたいのか要点を絞ることを今後意識したいです。 ・ 広報紙の作成・デザインにあたり、公務員でもここまでできるという例をたくさん見せていただき、自分にできることは色々があると気づくことができました。 ・ 広報紙を作るだけでなく、それを通して住民に内容を理解してもらえることが目的であるという意識を忘れないようにしたいと思います。デザインについても、作りたいイメージを業者に伝えるための情報収集をしていきたいです。 ・ 他区と同じ仕事をしている方々の意見や考え方に触れ、刺激を受けました。